



(様式第9)

帝大病第 13-747 号

平成 25年 10月 日

関東信越厚生局長殿

学校法人 帝 京 大
理事長 冲 永 佳

特定機能病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成24年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	151.4人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療の提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	370	4.2	374.2	看護業務補助	32	診療エックス線技師	
歯科医師	6	0.0	6.0	理学療法士	23	臨床検査技師	80
薬剤師	56	0.5	56.5	作業療法士	8	衛生検査技師	
保健師				視能訓練士	11	その他	
助産師	46		46.0	義肢装具士		あん摩マッサージ指圧師	
看護師	1080	11.9	1091.9	臨床工学技士	15	医療社会事業従事者	6
准看護師	11	0.5	11.5	栄養士		その他の技術員	7
歯科衛生士	6		6.0	歯科技工士		事務職員	154
管理栄養士	7	0.9	7.9	診療放射線技師	52	その他の職員	10

(注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	808.5	4.4	812.9
1日当たり平均外来患者数	1,756.6	49.7	1,806.3
1に当たり平均調剤数	684.1		

(注) 1 「歯科等」の欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調整延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法腹膜播種又は進行性胃がん(腹水細胞診又は腹腔洗浄細胞診により遊離がん細胞を認めるものに限る。)	7人
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。)	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	好塩基球ヒスタミン遊離反応によるアレルギー同定	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 アレルギー患者の好塩基球ヒスタミン遊離試験は、血液を用いてアレルギー反応を体外で起こさせる試験法であり、患者に直接アレルギーを投与する必要がないので安全にアレルギーを同定できるという特徴を有する。一部の食物アレルギーに対してのみ保険適応がある。本試験法を用いて、本学の研究室内で、アナプラキシー既往を有する患者に対して本検査を行った。			
医療技術名	呼気一酸化濃度測定	取扱患者数	150人
当該医療技術の概要 気管支喘息患者では、呼気一酸化窒素濃度 (FeNO)が高値を示し、その測定は迅速な喘息診断に有用である。NIOX MINOを用いて、100秒で結果が得られ、外来診療でも測定可能である。COPDにおける喘息との鑑別や、呼吸機能検査が困難な妊婦症例での喘息診断においても有用である。			
医療技術名	腹膜播種を伴う胃癌に対するS-1+パクリタキセル経静脈・腹腔内併用療法/S-1+シスプラチン併用療法による第Ⅲ相臨床試験	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 腹膜播種を伴う胃癌患者を対象として、S-1+シスプラチン併用療法を対照とし、S-1+パクリタキセル経静脈・腹腔内併用療法との生存期間における優越性を検証する。パクリタキセル経静脈・腹腔内併用療法を高度医療の枠組みで行う。			
医療技術名	認知機能リハビリテーション	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 統合失調症においては神経認知機能の低下がみられ、社会生活能力の低下に直接影響を与えているが、現在のところ薬物療法でも十分な改善が得られない。認知機能リハビリテーションはコンピューターソフトを用いて記憶機能、遂行機能などの認知機能の改善を図るプログラムで、先行研究で効果が確認されている。当科外来患者で合計36時間のプログラムを実施して、前後で総合的な認知機能改善の効果が得られた。			
医療技術名	ロボット補助下膀胱全摘除術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 ダヴィンチを用いて腹腔鏡下に膀胱全摘除を行う。			
医療技術名	ロボット補助下腎部分切除術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 ダヴィンチを用いて腹腔鏡下に腎部分切除を行う。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	193人	・膿疱性乾癬	3人
・多発性硬化症	55人	・広範脊柱管狭窄症	4人
・重症筋無力症	89人	・原発性胆汁性肝硬変	38人
・全身性エリテマトーデス	198人	・重症急性膵炎	3人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	26人
・再生不良性貧血	36人	・混合性結合組織病	14人
・サルコイドーシス	31人	・原発性免疫不全症候群	2人
・筋萎縮性側索硬化症	24人	・特発性間質性肺炎	14人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	96人	・網膜色素変性症	47人
・特発性血小板減少性紫斑病	65人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	27人	・肺動脈性肺高血圧症	2人
・潰瘍性大腸炎	121人	・神経線維腫症	19人
・大動脈炎症候群	5人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ピュルガー病	11人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	12人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	0人
・脊髄小脳変性症	24人	・ライソゾーム病	4人
・クローン病	53人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	12人	・脊髄性筋委縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	95人	・球脊髄性筋委縮症	2人
・アミロイドーシス	2人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	25人
・後縦靭帯骨化症	22人	・肥大型心筋症	5人
・ハンチントン病	3人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	29人	・ミトコンドリア病	4人
・ウェゲナー肉芽腫症	12人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	24人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	10人	・黄色靭帯骨化症	3人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	27人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・
・遺伝学的検査(先天性銅代謝異常症遺伝子診断)	・
・超音波骨折治療法	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1週間に1回程度
部 検 の 状 況	部検症例数 46例 / 部検率 7.5%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元
難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	滝川 一	内科	¥2,000,000	補委 厚生労働省
C.difficileと腸管内常在菌による腸管上皮細胞活性化の制御	太田康男	内科	¥1,200,000	補委 文部科学省
安全かつ効果的な抗HIV療法開発のための研究	太田康男	内科	¥3,000,000	補委 厚生労働省
国内で流行するHIV遺伝子型および薬剤耐性株の動向把握と治療方法の確立に関する研究	太田康男	内科	¥1,500,000	補委 厚生労働省
腎血管特異的なRNA干渉による腎移植後拒絶反応回避に向けた戦略的研究	内田俊也	内科	¥50,000	補委 文部科学省
気管支喘息に対する喘息死の予防や自己管理手法の普及に関する研究	長瀬洋之	内科	¥1,000,000	補委 厚生労働省
動脈硬化におけるチロシンキナーゼSykを介した自然免疫炎症の解明	河野 肇	内科	¥3,900,000	補委 文部科学省
細胞死に対する自然炎症の機序の解明およびその関節リウマチへの関与	河野 肇	内科	¥700,000	補委 文部科学省
原発性免疫不全症候群に関する調査研究	河野 肇	内科	¥2,000,000	補委 厚生労働省
原虫由来細胞外ヌクレオチド酵素による宿主免疫調節機構の解析	斧 康雄	内科	¥100,000	補委 文部科学省
多剤耐性アシネトバクターの新規病原因子の探索と重症化に関する宿主側要因の解析	斧 康雄	内科	¥1,200,000	補委 文部科学省
ペバシズマブの抗腫瘍活性を規定する新規バイオマーカーの探索	住本秀敏	内科	¥2,600,000	補委 文部科学省
アレルギー性炎症に及ぼす高血糖およびRAGEの作用解析と治療応用への試み	鈴川真穂	内科	¥711,188	補委 文部科学省
尿細管イオン輸送体の機能発現を制御する機構の解明	種本雅之	内科	¥900,000	補委 文部科学省
酸塩基調節における腎尿細管カリウムチャンネルの役割	種本雅之	内科	¥200,000	補委 文部科学省
計算解剖モデルに基づく診断支援	江口研二	腫瘍内科	¥500,000	補委 文部科学省
ペバシズマブの抗腫瘍活性を規定する新規バイオマーカーの探索	江口研二	腫瘍内科	¥500,000	補委 文部科学省
低線量胸部CT検診による肺がん検診の有効性評価のための無作為化比較試験	江口研二	腫瘍内科	¥500,000	補委 厚生労働省
ペバシズマブの抗腫瘍活性を規定する新規バイオマーカーの探索	関 順彦	腫瘍内科	¥500,000	補委 文部科学省
産業衛生の現場における認知行動療法プログラムを活用したうつ病の予防・改善の研究	中尾睦宏	心療内科	¥140,000	補委 文部科学省

小計20

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元
非正規雇用により生じる社会経済格差が家族の健康に及ぼす影響	中尾睦宏	心療内科	¥200,000	補委 文部科学省
職場におけるメンタルヘルス対策の有効性と費用対効果等に関する調査研究	中尾睦宏	心療内科	¥400,000	補委 厚生労働省
神経変性疾患に関する調査研究班	園生雅弘	神経内科	¥1,300,000	補委 厚生労働省
免疫性神経疾患に関する調査研究	園生雅弘	神経内科	¥950,000	補委 厚生労働省
新しい表面筋電図定量解析法、CI法の開発と臨床応用	園生雅弘	神経内科	¥1,200,000	補委 文部科学省
筋ジストロフィーおよび関連疾患の診断・治療開発を目指した基盤研究	斉藤史明	神経内科	¥1,000,000	補委 国立精神・神経医療研究センター
ニューロパチーにおけるラミニンとジストログリカンの相互作用の解析と治療への応用	斉藤史明	神経内科	¥1,100,000	補委 文部科学省
「がん薬物療法の個別適正化プログラム」	池田 正	外科	¥200,000	補委 (独)理化学研究所
遺伝子発現による大腸癌に対する分子標的薬の効果予測および効果規定遺伝子の検討	渡邊聡明	外科	¥1,400,000	補委 文部科学省
肝、腎、副腎、軟部組織、骨における凍結治療時の温度変化と病理変化の研究	川村雅文	外科	¥20,000	補委 文部科学省
ペバシズマブの抗腫瘍活性を規定する新規バイオマーカーの探索	橋口陽二郎	外科	¥1,900,000	補委 厚生労働省
ペバシズマブの抗腫瘍活性を規定する新規バイオマーカーの探索	石原総一郎	外科	¥20,000	補委 文部科学省
ペバシズマブの抗腫瘍活性を規定する新規バイオマーカーの探索	松田圭二	外科	¥20,000	補委 文部科学省
マウスの心臓移植モデルによる拒絶反応抑制に関わる漢方薬の作用機序の解析	新見正則	外科	¥1,400,000	補委 文部科学省
急性胆管炎診療における血清プロカルシトニン濃度測定の有用性の検討	三浦文彦	外科	¥1,300,000	補委 文部科学省
急性胆管炎診療における血清プロカルシトニン濃度測定の有用性の検討	佐野圭二	外科	¥100,000	補委 文部科学省
急性胆管炎診療における血清プロカルシトニン濃度測定の有用性の検討	天野穂高	外科	¥100,000	補委 文部科学省
急性胆管炎診療における血清プロカルシトニン濃度測定の有用性の検討	豊田真之	外科	¥100,000	補委 文部科学省
急性胆管炎診療における血清プロカルシトニン濃度測定の有用性の検討	和田慶太	外科	¥100,000	補委 文部科学省
切除不能局所進行膵癌に対する標準的化学放射線療法の確立に関する研究	佐野圭二	外科	¥0	補委 厚生労働省
女性外科医の就労継続と離職者の復職促進を実現する要素の解析	萬谷京子	外科	¥500,000	補委 文部科学省
大腸癌の循環癌幹細胞による分子標的薬治療効果予測診断と臨床応用	飯沼久恵	外科	¥2,080,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元
大腸癌の循環癌幹細胞による分子標的薬治療効果予測診断と臨床応用	山田英樹	外科	¥50,000	補委 文部科学省
大腸癌の循環癌幹細胞による分子標的薬治療効果予測診断と臨床応用	端山 軍	外科	¥50,000	補委 文部科学省
マイクロアレイによる大腸癌Cetuximab療法の効果予測と効果規定遺伝子の検討	野澤慶次郎	外科	¥200,000	補委 文部科学省
ペバシズマブの抗腫瘍活性を規定する新規バイオマーカーの探索	野澤慶次郎	外科	¥200,000	補委 文部科学省
医療安全をめぐる応答的規制 (Responsive Regulation) : 民事・刑事・行政の多元的な法的介入と医療安全対策の相互関係を探る	木戸浩一郎	産婦人科	¥300,000	補委 厚生労働省
高分子ナノミセルによるドラッグデリバリーシステムを利用した婦人科腫瘍の治療戦略	中川俊介	産婦人科	¥700,000	補委 文部科学省
ヒトパピローマウイルスを標的とする発がん予防の研究	中川俊介	産婦人科	¥3,000,000	補委 厚生労働省
「分子プロファイリングによる新規標的の同定を通じた難治がん治療法開発」(進行性卵巣がんの治療感受性を規定する遺伝子変異の同定における検体収集)	中川俊介	産婦人科	¥2,000,000	補委 文部科学省
ダウン症候群に合併する急性白血病に生じているゲノム異常に関する研究	菊地 陽	小児科	¥1,300,000	補委 文部科学省
小児がんの臨床評価に関する研究	菊地 陽	小児科	¥2,000,000	補委 厚生労働省
神経芽腫における標準治療の確立と新規治療の開発に関する研究	菊地 陽	小児科	¥350,000	補委 厚生労働省
小児がん情報ステーションの運営と拡充・小児がん研修モデルの提示と指導者の育成	菊地 陽	小児科	¥500,000	補委 (独)国立成育医療研究センター
Wilson病の肝癌発症の機序とその予防	児玉浩子	小児科	¥900,000	補委 文部科学省
Menkes病・occipital horn症候群の実態調査、早期診断基準確立、治療法開発	児玉浩子	小児科	¥10,000,000	補委 厚生労働省
Menkes病・occipital horn症候群の実態調査、早期診断基準確立、治療法開発	小川英伸	小児科	代表研究者一括配分	補委 厚生労働省
難治性骨折(偽関節)に対する軟骨分化誘導間葉系幹細胞を用いた治療方法の開発	松下 隆	整形外科	¥2,210,000	補委 (独)科学技術振興機構
難治性骨折(偽関節)に対する軟骨分化誘導間葉系幹細胞を用いた治療方法の開発	松下 隆	整形外科	代表研究者一括配分	補委 (独)科学技術振興機構
高悪性度軟部腫瘍に対する標準的治療法の確立に関する研究	阿部哲士	整形外科	¥180,000	補委 厚生労働省
重粒子線がん治療臨床研究班(骨・軟部腫瘍臨床研究班)	阿部哲士	整形外科	¥100,000	補委 独立行政法人放射線医学研究所
骨膜、骨髄、脂肪間葉系細胞移植を用いた再生医療研究	松下 隆	整形外科	代表研究者一括配分	補委 ツーセル(株)

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元
関節軟骨細胞の分化制御機構の解明	中川 匠	整形外科	¥100,000	補委 文部科学省
RANKシグナル制御による新規骨肉腫治療法の開発	中川 匠	整形外科	¥300,000	補委 文部科学省
既存血管系再構築による大型臓器再生法の開発	権太浩一	形成外科	¥1,200,000	補委 文部科学省
既存血管系再構築による大型臓器再生法の開発	平林慎一	形成外科	¥100,000	補委 文部科学省
既存血管系再構築による大型臓器再生法の開発	浅野裕子	形成外科	¥100,000	補委 文部科学省
既存血管系再構築による大型臓器再生法の開発	山岡尚代	形成外科	¥100,000	補委 文部科学省
次世代シーケンサーを用いたエクソーム配列解析による黄斑ジストロフィーの原因遺伝子と発症機序の解明に関する研究	篠田 啓	眼科	¥3,000,000	補委 厚生労働省
オカルト黄斑ジストロフィーの効果的診断法の確立および病態の解明	篠田 啓	眼科	¥800,000	補委 厚生労働省
ドコサヘキサエン酸(DHA)による網膜保護の研究	溝田 淳	眼科	¥2,050,000	補委 公益財団法人すかいらーくフードサイエンス研究所
新しい人工内耳(EAS)に関する基礎的、臨床的研究	伊藤 健	耳鼻咽喉科	¥900,000	補委 厚生労働省
糖脂質ガングリオシドによる乾癬の治療	神田奈緒子	皮膚科	¥800,000	補委 文部科学省
糖脂質ガングリオシドによる乾癬の治療	渡辺晋一	皮膚科	¥40,000	補委 文部科学省
糖脂質ガングリオシドによる乾癬の治療	大西誉光	皮膚科	¥40,000	補委 文部科学省
糖脂質ガングリオシドによる乾癬の治療	富田 学	皮膚科	¥40,000	補委 文部科学省
酸化ストレスにより誘導されるアンドロゲンシグナルを標的とした前立腺癌治療の開発	井手久満	泌尿器科	¥600,000	補委 文部科学省
加齢による海綿体神経の機能回復低下機序の解明	久末伸一	泌尿器科	¥1,300,000	補委 文部科学省
更年期の男性をターゲットとしたテーラーメイド機能性弁当の効果実証および供給システム開発	井手久満	泌尿器科	¥1,016,000	補委 (独)農業・食品産業技術総合研究機構
加齢による海綿体神経の機能回復低下機序の解明	井手久満	泌尿器科	¥400,000	補委 文部科学省
多発性嚢胞腎における尿中分泌細胞小体の包括的解析	堀江重郎	泌尿器科	¥2,100,000	補委 文部科学省
がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動	堀江重郎	泌尿器科	¥1,000,000	補委 文部科学省
多発性嚢胞腎における細胞微小小胞の機能解析	堀江重郎	泌尿器科	¥2,100,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元
被災地の再生を考慮した在宅医療の構築に関する研究	堀江重郎	泌尿器科	¥2,000,000	補委 厚生労働省
高悪性度筋層非浸潤癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除後の治療方針の確立に関する研究	堀江重郎	泌尿器科	¥130,000	補委 厚生労働省
高齢者に対する適切な医療提供に関する研究	堀江重郎	泌尿器科	¥800,000	補委 厚生労働省
進行性腎障害に関する調査研究	堀江重郎	泌尿器科	¥5,400,000	補委 厚生労働省
「地域生活中心」を推進する、地域精神科医療モデル作りとその効果検証に関する研究	池淵恵美	精神神経科	¥9,000,000	補委 厚生労働省
統合失調症に対する認知リハビリテーションの開発と効果検証に関する研究	池淵恵美	精神神経科	¥700,000	補委 厚生労働省
東日本大震災の被災地における地域精神保健医療福祉システムの再構築に資する中長期支援に関する研究	池淵恵美	精神神経科	代表研究者一括配分	補委 厚生労働省
統合失調症の社会機能測定ツールの開発—社会脳を実世界で評価する	池淵恵美	精神神経科	¥1,300,000	補委 文部科学省
麻酔による意識消失メカニズムの新たな展開—視床下部MCH産生細胞の役割—	福田 悟	麻酔科	¥900,000	補委 文部科学省
敗血症性脳症の病態におけるHMGB1の役割の解明	坂本英俊	麻酔科	¥700,000	補委 文部科学省
全国のサリドマイド胎芽病患者の健康、生活実態に関する研究	栢森良二	リハビリテーション科	¥1,000,000	補委 厚生労働省
高齢者、障害者のスキューバダイビングにおける循環生理学的研究	伊佐治 隆	リハビリテーション科	¥500,000	補委 文部科学省
循環器疾患等の救命率向上に資する効果的な救急蘇生法の普及啓発に関する研究	坂本哲也	救急科	¥16,000,000	補委 厚生労働省
急性心筋梗塞に対する病院前救護や遠隔医療等を含めた超急性期診療体制の構築に関する研究	坂本哲也	救急科	代表研究者一括配分	補委 厚生労働省
救急医療体制の推進に関する研究	坂本哲也	救急科	¥120,000	補委 厚生労働省
定量化した毛細血管再充満時間によるショックの予測	坂本哲也	救急科	¥100,000	補委 文部科学省
心肺蘇生開始までの時間短縮を目的としたファーストレスポンス体制の研究開発	坂本哲也 成川憲司	救急科	¥1,608,100	補委 総務省消防庁

小計17
合計100

- (注) 1. 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2. 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3. 「補助元又委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者	所属部門
アレルギーの臨床	好塩基球脱顆粒反応が陽性であった豆腐、および大豆を原因とするアナフィラキシーの2例	杉本直也	内科
The Journal of Immunology	Epithelial Cell-Derived IL-25, but Not Th17 Cell-Derived IL-17 or IL-17F, Is Crucial for Murine Asthma	Maho Suzukawa	内科
日本胸部臨床	肺野の虫道を契機に寄生虫検索を行いイヌ回虫幼虫移行症の診断に至った一例	中瀬裕子	内科
J All Clin Immunol In Practice	The basophil activation test identified carminic acid as an allergen inducing anaphylaxis	Naoya Sugimoto	内科
胆道	良性反復性肝内胆汁うっ滞の遷延する黄疸に対し内視鏡的経鼻胆管ドレナージが著効した1例	深水雅子	内科
Intern Med	Changes in the mean platelet volume levels after bloodstream infection have prognostic value	Kitazawa T	内科
J Acquired Immune Deficiency Syndromes	Prevalence and risk factors for loss of bone mineral density in male Japanese patients with HIV	Koga I	内科
Life Sci	<i>Clostridium difficile</i> flagellin stimulates toll-like receptor 5, and Toxin B promotes flagellin-induced chemokine production via TLR5	Yoshino Y	内科
Epidemiol Infect	Chronic hepatitis B and C co-infection increased all-cause mortality in HAART-naive HIV patients in northern Thailand	Tsuchiya N	内科
Gastroenterol Res	Liver abscess with a markedly high level of carbohydrate antigen 19-9	Yoshino Y	内科
Brazil J Infect Dis	Septicemia due to <i>Campylobacter insulaenigrae</i> in a patient with chronic myeloid leukemia: a case report	Yoshino Y	内科
Advances Infect Dis	Serum Cholesterol Levels at the Onset of Bloodstream Infection Have Prognostic Value	Kitazawa T	内科
J Microbiol Immunol Infect	Infective endocarditis due to <i>Enterobacter cloacae</i> resistant to third- and fourth-generation cephalosporins	Yoshino Y	内科
Infection	Clinical features of <i>Bacteroides</i> bacteremia and their association with colorectal carcinoma	Yoshino Y	内科
Intern Med	Dengue hemorrhagic fever in an adult traveler returning to Japan	Goto K	東京大学
Infect Control Hosp Epidemiol	Pandemic 2009 influenza A (H1N1) virus among Japanese healthcare workers: seroprevalence and risk factors	Nukui Y	東京大学
Thyroid 2012,22(8):769-77	Serum from methimazole-treated patients induces activation of aryl hydrocarbon receptor, a transcription factor that binds to dioxin-response elements.	Ishikawa T	内科
Current Res. in Gastroenterology and Hepatology	Feasibility of endoscopic submucosal dissection for esophageal superficial neoplasm: Analysis of one hundred consecutive cases	Nakao M	埼玉医科大学 国際医療センター
Curr. Res. In Cancer	Endoscopic diagnosis and treatment of superficial colorectal neoplasm	Shono T	埼玉医科大学 国際医療センター

雑誌名	題名	発表者	所属部門
Current Immunology Reviews	Dendritic Cells of the Liver from Ontogenic Development to Cell-Based Immune Therapy	Kita H	内科
Endoscopy	Duodenal Mycobacterium genavense infection in a patient with acquired immunodeficiency syndrome	Abe K	内科
Endoscopy	Endoscopic removal of localized gastric amyloidosis	Ebato T	内科
Digestive Endoscopy	Experimental trial for perforation caused by esophageal endoscopic submucosal dissection using a biodegradable polymer stent in an animal model	Nonaka K	埼玉医科大学 国際医療センター
J. of Analytical Oncology	Endoscopic Submucosal Dissection for Superficial Esophageal Neoplasms	Nonaka K	埼玉医科大学 国際医療センター
J Gastrointest Endosc	Role of narrow band imaging in endoscopic submucosal dissection	Nonaka K	埼玉医科大学 国際医療センター
J Clin Med Res.	Severe erosive esophagitis developing after gastric ulcer formation	Yamamoto T	内科
J Clin Med Res	Metronidazole-induced neurotoxicity developed in liver cirrhosis	Yamamoto T	内科
World J Gastroenterol	Right recumbent position on gastric emptying of water evidenced by (13)C breath testing	Sanaka M	城西国際大学
World J Gastrointest Endosc	Usefulness of the DL in ME with NBI for determining the expanded area of early-stage differentiated gastric carcinoma	Nonaka K	埼玉医科大学 国際医療センター
World J Gastrointest Endosc	Possibilities of interventional endoscopic ultrasound	Nishimura M	埼玉医科大学 国際医療センター
World J. of Gastrointestinal Endoscopy	Sasaki Y, Kita H: A case of gastric mucosal associated lymphoid tissue lymphoma in which magnified endoscopy with narrow band imaging was useful in the diagnosis	Nonaka K	埼玉医科大学 国際医療センター
World J. of Gastrointestinal Endoscopy	Endoscopic submucosal dissection in the gastrointestinal tract: A technical review. World	Matsui N	福岡東医療 センター
World J. of Gastrointestinal Endoscopy	Diagnosis of boundary in early gastric cancer	Ochiai Y	埼玉医科大学 国際医療センター
International Heart Journal	Clopidogrel trial in patients with elective percutaneous coronary intervention for stable angina and old myocardial infarction (CLEAN)	Isshiki T	循環器内科
Thrombosis Research	Pharmacodynamic assessment of a novel P2Y12 receptor antagonist in Japanese patients with coronary artery disease undergoing elective percutaneous coronary intervention	Kotani J	Cardiovascular Division, National Cerebral and Cardiovascular Center
Cardiovascular Intervention and Therapeutics	Antiplatelet therapy and long-term clinical outcome after sirolimus-eluting stent implantation: 5-year outcome of the j-Cypher registry	Kimura T	Department of Cardiovascular Medicine, Kyoto University Graduate School of Medicine
Journal of Invasive Cardiology	Mid-term results of everolimus-eluting stent in a Japanese population compared with a US randomized cohort: SPIRIT III Japan Registry with harmonization by doing	Saito S	ShonanKamakura General Hospital, Kamakura

雑誌名	題名	発表者	所属部門
Circulation Journal	Validity and reliability of new intravascular ultrasound analysis software for morphological measurement of coronary artery disease	Nakayama N	Division of Cardiology, Yokohama City University Medical Center
Revista Española de Cardiología	Role of microvessels in occlusive in-stent restenosis	Suzuki N	循環器内科
Cardiovascular Intervention and Therapeutics	Five-year outcomes of Cypher™ coronary stent: report from J-PMS Study	Kotani J	Cardiovascular Division, National Cerebral and Cardiovascular Center
Circulation Journal	Sirolimus eluting coronary stent implantation in patients on maintenance hemodialysis: the OUCH study (outcome of cypher stent in hemodialysis patients)	Ikari Y	Department of Cardiovascular Medicine, Tokai University School of Medicine
Angiology	Prevalence and predictors of coexistent silent atherosclerotic cardiovascular disease in patients with abdominal aortic aneurysm without previous symptomatic cardiovascular diseases	Takigawa M	Department of Cardiovascular Medicine, National Cardiovascular Center
Circulation	Comparison of everolimus-eluting and sirolimus-eluting coronary stents: 1-year outcomes from the Randomized Evaluation of Sirolimus-eluting Versus Everolimus-eluting stent Trial (RESET)	Kimura T	Department of Cardiovascular Medicine, Kyoto University Graduate School of Medicine
International Journal of Cardiology	Predominant microvessel proliferation in coronary stent restenotic tissue in patients with diabetes: Insights from optical coherence tomography image analysis	Suzuki N	循環器内科
EuroIntervention	Peri-stent contrast staining and very late stent thrombosis after sirolimus-eluting stent implantation: an observation from the RESTART (REgistry of Stent Thrombosis for review And Re-evaluaTion) angiographic substudy	Kozuma K	循環器内科
International Heart Journal	Impact of combined assessment of coronary artery calcium score, carotid artery plaque score, and brachial-ankle pulse wave velocity for early coronary revascularization in patients with suspected coronary artery disease	Iino R	循環器内科
Tokai Exp Clin Med	Anemia affects the Quality of Life of Japanese cancer patients.	I Wasada	Tokai University School of Medicine
J Pain Symptom Management	A scale for measuring feelings of support and security regarding cancer care in region of Japan: A potential new endpoint of cancer care.	A Igarashi	Tokyo Medical and Dental University
BMC Palliative Care	A region-based palliative care intervention trial using the mixed-method approach: Japan OPTIM study.	T Morita	Seirei Mikatahara General Hospital
Eur J Cardio-Thorac Surg	Differences in the prognosis of resected lung adenocarcinoma according to the histological subtype: a retrospective analysis of Japanese lung cancer registry data.	H Sakurai	National Cancer Center Hospital
Ann Oncol	Efficacy and safety of single-dose fosaprepitant in the prevention of chemotherapy-induced nausea and vomiting in patients receiving high-dose cisplatin: a multicentre, randomized, double-blind, placebo-controlled phase 3 trial.	Saito H	Aichi Cancer Center Aichi Hospital

雑誌名	題名	発表者	所属部門
JTO	Surgical outcome of Stage IIIA-cN2/pN2 non-small-cell lung cancer patients in Japanese Lung Cancer Registry Study in 2004.	Yoshino I	Chiba University Graduate School of Medicine
Med. Phys.	Quantitative classification based on GT histogram analysis of non-small cell lung cancer: Correlation with histopathological characteristics and recurrence-free survival.	Y. Kawata	The University of Tokushima,
Gan To Kagaku Ryoho	Promising new injection method to prevent angialgia/phlebitis from epirubicin hydrochloride therapy for breast cancer.	Ono C	Teikyo University Hospital
Stem Cells.	Transplantation of Side Population Cells Restores the Function of Damaged Exocrine Glands Through Clusterin.	Mishima K	Tsurumi University School of Dental Medicine
J Immunol.	Immune Suppression and Resistance Mediated by Constitutive Activation of Wnt/ β -Catenin Signaling in Human Melanoma Cells.	Yaguchi T	Keio University School of Medicine
Gastric Cancer.	Suppression of myeloid cell leukemia-1 (Mcl-1) enhances chemotherapy-associated apoptosis in gastric cancer cells.	Akagi H	Keio University School of Medicine
Tohoku Journal of Experimental Medicine	Job stress strengthens the link between metabolic risk factors and renal dysfunction in adult men.	Nakao M	心療内科
BMJ Open	The possible absence of a healthy-worker effect: a cross-sectional survey among educated Japanese women.	Nakao M	心療内科
Clin Neurophysiol	Spread to the dorsal ulnar cutaneous branch: a pitfall during the routine antidromic sensory nerve conduction study of the ulnar nerve.	Murashima H	神経内科
Clin Neurophysiol	A-waves in Guillain-Barré syndrome: correlation with electrophysiological subtypes and antiganglioside antibodies.	Kawakami S	神経内科
Muscle Nerve	Electromyographs of the flexor digitorum profundus muscle are useful for the diagnosis of inclusion body myositis.	Hokkoku K	神経内科
Muscle Nerve	Stimulus duration and pain in nerve conduction studies.	Tamura A	国立精神・神経医療研究センター病院
臨床神経生理学	True neurogenic thoracic outlet syndrome (TOS) の臨床的・電気生理学的特徴	園生 雅弘	神経内科
J Infect Chemotherapy 2012,18(6)	Nationwide surveillance of antimicrobial susceptibility patterns of pathogens isolated from surgical site infections (SSI) in Japan.	Takesue Y	Hyogo Medical College Hospital
Gastric Cancer 2012,15(3)	Combination chemotherapy with S-1 plus cisplatin for gastric cancer that recurs after adjuvant chemotherapy with S-1: multi-institutional retrospective analysis.	Shitara K	Aichi Cancer Center Hospital
J Transl Med 2012,10	Multicenter, phase II clinical trial of cancer vaccination for advanced esophageal cancer with three peptides derived from novel cancer-testis antigens.	Kono K	First Department of Surgery, University of Yamanashi
Oncology reports 2012,27(6)	Clinicopathological and prognostic significance of microRNA-107 and its relationship to DICER1 mRNA expression in gastric cancer.	Inoue T	外科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
Surgery Today 2012,42(9)	Chronic pain and discomfort after inguinal hernia repair.	Inaba T	外科
Br J Cancer 2012,107(4)	Accurate and rapid novel genetic diagnosis for detection of sentinel lymph node metastasis in breast cancer patients	Iinuma H	外科
Hepato-gastroenterology 2012,59(118)	The Breath Test System Involving a Novel Tracer, ¹³ C-Uracil and Wagner-Nelson Analysis: Comparison with the Gastric Emptying Scintigraphy	Fukushima R	外科
日本臨床外科学会雑誌	進行大腸癌における術前血中 sialyl Lewis X値測定の有用性に関する検討	内藤 善久	防衛医科大学校 外科
Colorectal Dis	Evaluation of the seventh edition of the tumour, node, metastasis (TNM) classification for colon cancer in two nationwide registries of the United States and Japan	Y. Hashiguchi	外科
Ann Surg Oncol	Impact of race/ethnicity on prognosis in patients who underwent surgery for colon cancer: analysis for white, African, and East Asian Americans	Y. Hashiguchi	外科
Int J Oncol	Down-regulation of miR-125a-3p in human gastric cancer and its clinicopathological significance	Y. Hashiguchi	外科
Surgery	The effect of adding fish oil to parenteral nutrition on hepatic mononuclear cell function and survival after intraportal bacterial challenge in mice	T. Moriya	Department of Surgery, National Defense Medical College
Ann Surg	Lack of Preoperative Enteral Nutrition Reduces Gut-Associated Lymphoid Cell Numbers in Colon Cancer Patients: A Possible Mechanism Underlying Increased Postoperative Infectious Complications During Parenteral Nutrition	K. Okamoto	Department of Surgery, National Defense Medical College
Surgery	Right-sided retrocaval approach using guidance via the lesser sac for Spiegelhel lobe resection	J. Yamamoto	Department of Surgery, National Defense Medical College
Tech Coloproctol	Multi-detector row computed tomography (MDCT) is useful for the diagnosis of rectal varices	T. Hayama	外科
Oncol Rep	Prognostic significance of PDCC4 expression and association with microRNA-21 in each Dukes' stage of colorectal cancer patients	A. Horiuchi	外科
Br J Cancer	Accurate and rapid novel genetic diagnosis for detection of sentinel lymph node metastasis in breast cancer patients	H. Iinuma	外科
Ann Surg Oncol	Radiation-induced apoptosis of peripheral blood lymphocytes is correlated with histological regression of rectal cancer in response to preoperative chemoradiotherapy	S. Ishihara	外科
Hepatogastroenterology	A 1cm distal bowel margin is safe for rectal cancer after preoperative radiotherapy	T. Watanabe	外科
Hepatogastroenterology	Time trend and risk factors for reoperation in Crohn's disease in Japan	T. Watanabe	外科
Inflamm Bowel Dis	Interval of less than 5 years between the first and second operation is a risk factor for a third operation for Crohn's disease	T. Watanabe	外科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
Cancer Res	Plastin3 Is a Novel Marker for Circulating Tumor Cells Undergoing the Epithelial-Mesenchymal Transition and Is Associated with Colorectal Cancer Prognosis.	Yokobori T	Department of Surgery, Kyushu University Beppu Hospital,
Ann Surg Oncol	The rs6983267 SNP Is Associated with MYC Transcription Efficiency Which Promotes Progression and Worsens Prognosis of Colorectal Cancer.	Takatsuno Y	Department of Surgical Oncology, Medical Institute of Bioregulation, Kyushu University
J Clin Oncol	Chromosomal instability (CIN) phenotype, CIN high or CIN low, predicts survival for colorectal cancer.	Watanabe T	外科
Ann Surg Oncol	Increased Risk for CRC in Diabetic Patients with the Nonrisk Allele of SNPs at 8q24.	Ishimaru S	Department of Surgery, Kyushu University Beppu Hospital
Oncol Rep.	Prognostic significance of CTCs and CSCs of tumor drainage vein blood in Dukes' stage B and C colorectal cancer patients.	Shimada R	外科
Oncol Rep.	Prognostic significance of PDCD4 expression and association with microRNA-21 in each Dukes' stage of colorectal cancer patients.	Horiuchi A	外科
Br J Cancer	Accurate and rapid novel genetic diagnosis for detection of sentinel lymph node metastasis in breast cancer patients.	Iinuma H	外科
J Transl Med	Multicenter phase II clinical trial of cancer vaccination for advanced esophageal cancer with three peptides derived from novel cancer-testis antigens.	Kono K	First Department of Surgery, University of Yamanashi
Oncol Rep	Clinicopathological and prognostic significance of microRNA-107 and its relationship to DICER1 mRNA expression in gastric cancer.	Inoue T	外科
Transplant Proc	Artemisiae capillaris herba induces prolonged survival of fully cardiac allografts and generates regulatory cells in mice	X. Jin	外科
Transplant Proc	The smell of Tokishakuyaku-san (TJ-23) induces generation of regulatory T cells and prolongation of survival of fully allogeneic cardiac grafts in mice	X. Jin	外科
J Hepatobiliary Pancreat Sci.	Correlation of apparent diffusion coefficient measured by diffusion-weighted MRI and clinicopathologic features in pancreatic cancer patients.	Hayano K	外科
World J Surg.	Long-term surgical outcomes of patients with type 1 autoimmune pancreatitis.	Miura F	外科
Br J Radiol.	Three-dimensional images of liver tumours reconstructed by Gd-EOB-DTPA-enhanced MRI.	Takeshita K	外科
J Hepatobiliary Pancreat Sci.	Whereabouts of an internal short stent placed across the pancreaticojejunostomy following pancreatoduodenectomy.	Kadowaki S	外科
Ann Surg.	Gallbladder cancer involving the extrahepatic bile duct.	Miura F	外科
J Hepatobiliary Pancreat Sci.	Morphometric and immunohistochemical study of cholangiolocellular carcinoma: comparison with non-neoplastic cholangiole, interlobular duct and septal duct.	Maeno S	外科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
J Hepatobiliary Pancreat Sci.	TG13 antimicrobial therapy for acute cholangitis and cholecystitis.	Gomi H	Center for Clinical Infectious Diseases, Jichi Medical University
J Hepatobiliary Pancreat Sci.	TG13 diagnostic criteria and severity grading of acute cholecystitis (with videos).	Yokoe M	General Internal Medicine, Nagoya Daini Red Cross Hospital
J Hepatobiliary Pancreat Sci.	TG13 indications and techniques for gallbladder drainage in acute cholecystitis (with videos).	Tsuyuguchi T	Department of Medicine and Clinical Oncology, Graduate School of Medicine Chiba University
J Hepatobiliary Pancreat Sci.	TG13 indications and techniques for biliary drainage in acute cholangitis (with videos).	Itoi T	Department of Gastroenterology and Hepatology, Tokyo Medical University
J Hepatobiliary Pancreat Sci.	TG13 surgical management of acute cholecystitis.	Yamashita Y	Department of Gastroenterological Surgery, Fukuoka University Hospital, Fukuoka University School of Medicine,
J Hepatobiliary Pancreat Sci.	TG13: Updated Tokyo Guidelines for the management of acute cholangitis and cholecystitis.	Takada T	外科
J Hepatobiliary Pancreat Sci.	TG13 miscellaneous etiology of cholangitis and cholecystitis.	Higuchi R	Department of Surgery, Institute of Gastroenterology, Tokyo Women's Medical University,
J Hepatobiliary Pancreat Sci.	TG13 current terminology, etiology, and epidemiology of acute cholangitis and cholecystitis.	Kimura Y	Department of Surgical Oncology and Gastroenterological Surgery, Sapporo Medical University School of Medicine,
J Hepatobiliary Pancreat Sci.	TG13 flowchart for the management of acute cholangitis and cholecystitis.	Miura F	外科
J Hepatobiliary Pancreat Sci.	TG13 management bundles for acute cholangitis and cholecystitis.	Okamoto K	Department of Surgery, Kitakyushu Municipal Yahata Hospital
J Hepatobiliary Pancreat Sci.	TG13 guidelines for diagnosis and severity grading of acute cholangitis (with videos).	Kiryama S	Department of Gastroenterology, Ogaki Municipal Hospital,
J Hepatobiliary Pancreat Sci.	New diagnostic criteria and severity assessment of acute cholecystitis in revised Tokyo Guidelines.	Yokoe M	General Internal Medicine, Nagoya Daini Red Cross Hospital,

雑誌名	題名	発表者	所属部門
J Hepatobiliary Pancreat Sci.	New diagnostic criteria and severity assessment of acute cholangitis in revised Tokyo Guidelines.	Kiryama S	Department of Gastroenterology, Ogaki Municipal Hospital
J Hepatobiliary Pancreat Sci.	Portal vein resection in pancreaticoduodenectomy (with video).	Amano H	外科
J Hepatobiliary Pancreat Sci.	Clinical features and treatment outcome of borderline resectable pancreatic head/body cancer: a multi-institutional survey by the Japanese Society of Pancreatic Surgery.	Kato H	Department of Hepatobiliary Pancreatic and Transplant Surgery, Mie University Graduate School of Medicine,
Rene Mantke e al. (eds.) Springer	Commentary 6. International Practice in Pancreatic Surgery.	Takda T	外科
PloS One	Percutaneous cryoablation for the treatment of medically inoperable stage I non-small cell lung cancer	Yamauchi Y	慶應義塾大学医学部
J Vasc Interv Radiol	Percutaneous cryoablation of lung tumors: feasibility and safety	Inoue M	慶應義塾大学医学部
J Vasc Interv Radiol	Factors affecting local progression after percutaneous cryoablation of lung tumors	Yashiro H	慶應義塾大学医学部
癌と化学療法	ラットにおける壊死性抗がん剤の漏出性皮膚障害に関するステロイド局所注射の効果	杉本雅和	外科
癌と化学療法	エピルビシン投与による静脈炎に対するSub-Rout法での軽減効果の検討	小野智恵美	外科
Cancer Sci.	Randomized phase II study of three doses of oral TAS-108 in postmenopausal patients with metastatic breast cancer.	Inaji H	Department of Breast and Endocrine Surgery, Osaka Medical Center for Cancer and Cardiovascular Diseases
Br J Cancer.	Accurate and rapid novel genetic diagnosis for detection of sentinel lymph node metastasis in breast cancer patients.	Iinuma H	外科
Int J Clin Oncol.	A multicenter, phase II study of epirubicin/cyclophosphamide followed by docetaxel and concurrent trastuzumab as primary systemic therapy for HER-2 positive advanced breast cancer (the HER2NAT study).	Aogi K	Department of Breast Oncology, National Hospital Organization Shikoku Cancer Center
Breast Cancer Res Treat.	Preoperative systemic therapy in locoregional management of early breast cancer: highlights from the Kyoto Breast Cancer Consensus Conference.	Masakazu Toi	Breast Surgery, Graduate School of Medicine, Kyoto University
Chemotherapy	Differential Pathological Response to Preoperative Chemotherapy across Breast Cancer Intrinsic Subtypes	Jinno H	Department of Surgery, Keio University School of Medicine
乳癌の臨床	抗血栓薬服用中乳癌患者周術期管理の検討	鴨宣之	医療法人財団 興和会 右田病院

雑誌名	題名	発表者	所属部門
World J Surg	The Attitude and Perceptions of Work-life Balance: A Comparison Among Women Surgeons in Japan, USA, and Hong Kong China.	Kawase K	Department of Surgery, The Jikei University School of Medicine
Breast Cancer Res Treat	Impact of real-time virtual sonography, a coordinated sonography and MRI system that uses an image fusion technique, on the sonographic evaluation of MRI-detected lesions of the breast in second-look sonography.	Nakano S	Division of Breast and Endocrine Surgery, Department of Surgery, Aichi Medical University
Evid Based Complement Alternat Med.	Inchingorei-san (TJ-117) and Artemisiae Capillaris Herba Induced Prolonged Survival of Fully Mismatched Cardiac Allografts and Generated Regulatory Cells in Mice.	Jin X	外科
Transplant Proc.	Artemisiae capillaris herba induces prolonged survival of fully cardiac allografts and generates regulatory cells in mice.	Jin X	外科
Transplant Proc.	The smell of Tokishakuyaku-san (TJ-23) induces generation of regulatory T cells and prolongation of survival of fully allogeneic cardiac grafts in mice.	Jin X	外科
Transplant Proc.	Music exposure induced prolongation of cardiac allograft survival and generated regulatory CD4 ⁺ cells in mice.	Uchiyama M	Department of Cardiovascular Surgery, Juntendo University Hospital
Transplant Proc.	Induction of regulatory CD4 ⁺ cells and prolongation of survival of fully allogeneic murine cardiac grafts by danazol.	Uchiyama M	Department of Cardiovascular Surgery, Juntendo University Hospital
Br J Cancer 2012,107(4),724-731	Accurate and rapid novel genetic diagnosis for detection of sentinel lymph node metastasis in breast cancer patients	Iinuma H	外科
J Transl Med 2012,10,141-150	Multicenter, phase II clinical trial of cancer vaccination for advanced esophageal cancer with three peptides derived from novel cancer-testis antigens.	Kono K	First Department of Surgery, University of Yamaguchi
Oncology reports 2012,27(6),1759-1764	Clinicopathological and prognostic significance of microRNA-107 and its relationship to DICER1 mRNA expression in gastric cancer.	Inoue T	外科
J Clin Oncol 2012, 30 (18), 2256-2264	Chromosomal instability (CIN) phenotype, CIN high or CIN low, predicts survival for colorectal cancer.	Watanabe T	外科
Oncology reports 2012,27(4), 947-953	Prognostic significance of CTCs and GSCs of tumor drainage vein blood in Dukes' stage B and C colorectal cancer patients.	Shimada R	外科
Oncology reports 2012,27(5), 1384-1392	Prognostic significance of PDCD4 expression and association with microRNA-21 in each Dukes' stage of colorectal cancer patients.	Horiuchi A	外科
Ann Surg Oncol. 2012, 19 (9), 2853-2858	Increased Risk for CRC in Diabetic Patients with the Nonrisk Allele of SNPs at 8q24.	Ishimaru S	Department of Surgical Oncology, Kyushu University
Cancer Res. 2013, 73 (7), 2059-2069	Plastin3 Is a Novel Marker for Circulating Tumor Cells Undergoing the Epithelial-Mesenchymal Transition and Is Associated with Colorectal Cancer Prognosis.	Yokobori T, Iinuma H	外科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
Ann Surg Oncol. 2013, 20 (4), 1395-1402	The rs6983267 SNP Is Associated with MYC Transcription Efficiency Which Promotes Progression and Worsens Prognosis of Colorectal Cancer.	Takatsuno Y	Department of Surgical Oncology, Kyushu University
Jornal of Thoracic and Cardiovascular Surgery	Outcomes of total arch replacement with stepwise distal anastomosis technique and modified perfusion strategy	松山 重文	心臓血管外科
東京産婦会誌 61:248-251,2012	三重複癌の一例	川田龍太郎	産婦人科
東京産婦会誌 61:402-407,2012	妊娠後期にウイルス関連の血球貪食症候群を発症した1例	一瀬隆行	産婦人科
東京産婦会誌 62:22-26, 2013	多発脳梗塞を発症しTrousseau症候群と診断された進行子宮体癌の1例	森田政義	産婦人科
東京産婦会誌 62:214-217,2013	胎児期に嚢胞性腫瘍として認められた副腎出血の1例	福井志保	産婦人科
Jpn J Med Ultrasonics 40:175-181.	超音波組織弾性映像法(エラストグラフィ)を用いて切迫早産および分娩中の子宮筋収縮を評価する試み	松本泰弘	産婦人科
Medical Engineering & physics 34:566-572.	A new method for long-term home monitoring of fetal movement by pregnant women themselves.	Ryo E	産婦人科
J Matern-Fetal Neo M 25:2629-32.	Fetal movement counting at home with a fetal movement acceleration measurement recorder: A preliminary report.	Eiji Ryo	産婦人科
Am J Med Genet C Semin Med Genet. 160:190-204.	TRPV4-associated skeletal dysplasias.	Nishimura G	Lausanne University Hospital, Switzerland
J Orthop Sci (2013) 18:181-185	Synovial hemangioma of the hip joint with pathological femoral neck fracture and extra-articular extension	Satoshi Abe	整形外科
Skeletal Radiol 2012 DOI 10.1007/s00256-012-1484-4	Three cases of collagenous fibroma with rim enhancement on postcontrast T1-weighted images with fat suppression	Asako Yamamoto	整形外科
整形外科 639 969-971 2012	軟部肉腫と鑑別を要した巨大な慢性増大性血腫の1例	神沼丈寛	整形外科
日化療会誌 60 (3): 319-326, 2012	整形外科領域の周術期感染予防	松下和彦	川崎市立多摩病院整形外科
整形外科 2012年 63巻9号 p. 921-926	第III相多施設共同無作為割付け並行群間比較試験:自己組織化したハイドロキシアパタイト/コラーゲン複合体vs β -リン酸三カルシウム	四宮謙一	横浜市立みなと赤十字病院
日本頭蓋顎顔面外科学会誌	粘膜下蓋裂を伴ったRussell-Silver症候群の1例	江口 智明	虎の門病院
The Bulletin of Tokyo Dental College	Orthodontic Treatment in Combination with Le Fort II Bone Distracthion in Patient with Apert Syndrome	Haruyo Miyazaki	東京歯科大学 水道橋病院
形成外科 The Japanese Journal of Plastic Surgery	Vol.55 増刊号 研修医・外科系医師が知っておくべき形成外科の基本知識と手技 IV 植皮の理論と実際 3 全層植皮術	権太浩一	形成外科
Graefe's Archive for Clinical and Experimental Ophthalmology (2012) 250:1399-1402	Wavy and elevated retinal pigment epithelial line in optical coherence tomographic images of eyes with atypical Vogt-Koyanagi-Harada disease	Kei Shinoda	眼科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
Jpn J Ophthalmol 2012 56(1)91-7	OPA1 mutations in Japanese patients suspected to have autosomal dominant optic atrophy	Tetsuya Hamahata	Department of Ophthalmology, Juntendo University School
Am J Ophthalmol Vol. 154(3) September 2012, 579-585	Correlation of integrity of cone outer segment tips line with retinal sensitivity after half-dose photodynamic therapy for chronic central serous chorioretinopathy	Fujita K	Department of Ophthalmology, Sugadai Nihon University Hospital, Tokyo
Journal of Vision 2012 12(3):6,1-7	Stiles-Crawford effect in focal macular ERGs from macaque monkey	Celso Soiti Matsumoto	眼科
Acta Ophthalmologica 90(7)e575-e577 Nov 2012	Reading performance with different contrast characters in patients with central serous chorioretinopathy	Kyoko Fujita	Department of Ophthalmology, Sugadai Nihon University Hospital, Tokyo
Retinal Cases & Brief Reports 6(2):142-144, Spring 2012 doi: 10.1097/ICB.0b013e3182160913	Vitreotomy for Proliferative Retinopathy in Patient with advanced Duchenne Muscular Dystrophy	So K	眼科
Retinal Cases & Brief Reports 6(1):60-64, Winter 2012 doi: 10.1097/ICB.0b013e3182051ee7	Simultaneous bilateral central retinal artery occlusion in Churg-Strauss syndrome	Akiyama Y	眼科
Retina 2012 32(6)1135-47	Clinical characteristics of occult macular dystrophy in large Japanese family	Kzushige Tsunoda	Laboratory of visual Physiology, National Institute of Sensory Organs, Tokyo
Graefe's Archive for Clinical and Experimental Ophthalmology Sep;250(9):1399-402. Epub 2012 Mar 7	Wavy and elevated RPE line in optical coherence tomographic images of eyes with posterior scleritis.	Shinoda K	眼科
Case Report in Ophthalmol 2012 May;3(2):162-8.	Case of unilateral peripheral cone dysfunction.	Yujin Mochizuki	Department of Ophthalmology, Juntendo University Urayasu Hospital, Chiba
Case Report in Ophthalmol 2012 May;3(2):258-61.	Tissue plasminogen activator assisted vitrectomy for an eye with suprachoroidal hemorrhage after rupture.	Matsumoto K	眼科
Am J Ophthalmol 2012 Sep;154(3):579-85.	Correlation of integrity of cone outer segment tip line with retinal sensitivity after half-dose photodynamic therapy for chronic central serous chorioretinopathy.	Fujita K	Department of Ophthalmology, Sugadai Nihon University Hospital, Tokyo
Clin Ophthalmol 2012;6:1681-7.	Microperimetric evaluation on the half-dose photodynamic therapy for chronic central serous chorioretinopathy.	Fujita K	Department of Ophthalmology, Sugadai Nihon University Hospital, Tokyo
Case Reports in Ophthalmol 2012;3:396-405	Acute visual field defect following vitrectomy was determined as optic nerve origin by Electrophysiology.	Atsuro Uchida	Department of Ophthalmology, Keio University School of Medicine

雑誌名	題名	発表者	所属部門
Molecular Vision 2012; 18:1031-1039	A New mutation in the <i>RP1L1</i> gene in a patient with occult macular dystrophy associated with a depolarizing pattern of focal macular electroretinograms	Takenori Kabuto	Department of Ophthalmology, Ni ppon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, Chiba Japan
Ophthalmologica 2012 228(3) 174-80	Age-Related Changes in Spectra; Transmittance of the Human Crystalline Lens in situ	Yoshihito Sakanishi	Department of Ophthalmology Juntendo University, Urayasu Hospital, Chiba
Experimental Eye Research 2012 Mar 96(1)98-106	Costimulatory molecule expression on human uveal melanoma cells: Functional analysis of CD40 and B7-H1	Juan Ma	Department of Ophthalmology, Tokyo Medical University
Retinal Cases & Brief Reports 7(1):78-81, Winter 2013.	Valsalva retinopathy developing during Japanese cheerleading training ("Ouedan")	Hanazono G	Department of Ophthalmology, Kikkoman General Hospital, Chiba
Clin Exp Optometry 2013 Jan; 96(1):100-5	Low luminance visual acuity in patients with central serous chorioretinopathy.	Kyoko Fujita	Department of Ophthalmology, Sugadai Nihon University Hospital, Tokyo
Clin Exp Optometry 2013; 96: 100-105	Low luminance visual acuity in patients with central serous chorioretinopathy	Fujita K	Department of Ophthalmology, Sugadai Nihon University Hospital, Tokyo
International Journal of Radiation Oncology biology Physics vol.86(2)270-7 2013	Long-term Results of Carbon Ion Radiation Therapy for Locally Advanced or Unfavorably Located Choroidal Melanoma: Usefulness of CT-based 2-Port Orthogonal Therapy for Reducing the Incidence of Neovascular Glaucoma	Shingo Toyama, MD	Research Center for Charged Particle Therapy, National Institute of Radiological Sciences
Acta Ophthalmol in press	Images of intracameral objects projected onto posterior surface of model eye.	Kawamura R	Department of Ophthalmology, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan
Laryngoscope	Admittance tympanometry with 2-kHz probe tones in patients with low-frequency hearing loss.	安井拓也	耳鼻咽喉科
Journal of Investigative Dermatology	IL-27 activates Th1-mediated responses in imiquimod-induced psoriasis-like skin lesions.	Tada Y	皮膚科
Clinical and Experimental Dermatology	Cyclosporine A Inhibits Interleukin-12p40 and Interleukin-23 production by human monocyte cell line, THP-1 cells.	Tada Y	皮膚科
American Journal of Pathology	Visfatin Enhances the Production of Cathelicidin Antimicrobial Peptide, Human β -Defensin-2, Human β -Defensin-3, and S100A7 in Human Keratinocytes and Their Orthologs in Murine Imiquimod-induced Psoriatic Skin.	Kanda N	皮膚科
Allergy	Decreased serum LL-37 and vitamin D3 levels in atopic dermatitis: relationship between IL-31 and oncostatin M.	Kanda N	皮膚科
Clinical and Experimental Dermatology	Serum lipocalin-2 levels are increased in patients with psoriasis.	Tada Y	皮膚科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
Immunobiology	Increased serum human β -defensin-2 levels in atopic dermatitis:	Kanda N	皮膚科
泌尿器外科	T1 high grade筋層非浸潤性膀胱癌に対するBCG注入療法	武藤 智	泌尿器科
Japanese Journal of Clinical Oncology	Maintenance Therapy with Intravesical Bacillus Calmette-Guérin in Patients with Intermediate- or High-Risk Nonmuscle-Invasive Bladder Cancer	Muto S	泌尿器科
Asian Journal of Endoscopic Surgery	Clinical and safety profiles of bipolar transurethral vaporization of the prostate in saline: a preliminary report.	Isotani S	泌尿器科
Korean Journal of Urology	Clinical Usefulness of Corticotropin Releasing Hormone Testing in Subclinical Cushing's Syndrome for Predicting Cortisol Replacement after Adrenalectomy	Inoue M	泌尿器科
Clinical and Experimental Nephrology	Renal disease progression in autosomal dominant polycystic kidney disease	Higashihara E	杏林大学医学部 付属病院
Prostate	Testosterone promotes DNA damage response under oxidative stress in prostate cancer cell lines	Ide H	泌尿器科
精神神経学雑誌	統合失調症の社会的認知-脳科学と心理社会的治療の架橋を目指して。	池淵恵美	精神神経科
精神科臨床サービス	我が国における就労支援モデルの構築	池淵恵美	精神神経科
臨床精神薬理	統合失調症の回復を援助する心理社会的治療	池淵恵美	精神神経科
精神医学	SSTの作用機序と臨床現場での効果的な実施方法。	池淵恵美	精神神経科
臨床精神薬理	統合失調症患者における olanzapine の effectiveness -CATIE試験の結果を踏まえた実地臨床での18ヶ月間の再検証-	赤羽晃寿	精神神経科
Prehospital and Disaster Medicine Vol.28, No.1 39-42 2013	Relationship Between Time from Ambulance Call to Arrival at Emergency Center and Level of Consciousness at Admission in Severe Stroke Patients	Ohwaki K	脳神経外科座 公衆衛生学講座
J Vasc Surg 2012 Oct;56(4):1114-8	Celiac artery dissection seen with ruptured pancreaticoduodenal arcade aneurysms in two cases of celiac artery stenosis from compression by median arcuate ligament.	Watanabe A	放射線科
AJNR Am J Neuroradiol 2012 Dec;33(11):2136-9	MR imaging of IgG4-related disease in the head and neck and brain.	Toyoda K	放射線科
Br J Radiol 2012 Oct;85(1018):e953-6	Three-dimensional images of liver tumours reconstructed by Gd-EOB-DTPA-enhanced MRI.	Takeshita K	放射線科
Jpn J Radiol 2013 Mar;31(3):186-91.	Influence of age and sex on signal intensities of the posterior lobe of the pituitary gland on T1-weighted images from 3 T MRI.	Yamamoto A	放射線科
J Radiat Res 2013 Mar 1;54(2):315-21	Quantitative evaluation of light scattering intensities of the crystalline lens for radiation related minimal change in interventional radiologists: a cross-sectional pilot study.	Abe T	Department of Radiology, Kurume University School of Medicine
総合リハ	顔面神経麻痺のリハビリテーション	栢森良二	リハビリテーション科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
MB Medical Rehabilitation	各種疾患に対するボツリヌス治療-顔面痙攣	栢森良二	リハビリテーション科
Facial Nerve Research	2歳未満乳児の顔面神経麻痺の機能予後診断	栢森良二	リハビリテーション科
Facial Nerve Research	病的共同運動の電気生理学的診断と治療	栢森良二	リハビリテーション科
Facial Nerve Research	Combined Systems for the Analysis of Facial Palsy : the House-Brackmann, Yanagihara, and Sunnybrook Facial Grading Systems	Lina Wang	リハビリテーション科
リハビリテーション医学	頸髄損傷患者の自宅退院に影響する因子の多面的分析	鶴見一恵	筑波記念病院
神経外傷	頭部外傷を主たる原因傷病とする高次脳機能障害に対する支援体制の構築:茨城県下での取り組みの現況	大賀優	東京医科大
Journal of American Society of Hypertension(6巻4号)	Relationship between blood pressure and persistent epistaxis at the emergency department: a retrospective study	Moriyuki Terakura	救急科(ER)
日本救急医学会雑誌(23巻4号)	鈍的肝損傷を診断するために腹部造影CTを撮影する判断基準としてのAST及びALTのカットオフ値	濱田裕久	虎ノ門病院
Emergency Medicine Journal	Emergency/disaster medical support in the restoration project for the Fukushima nuclear power plant accident.	Morimura N	横浜市立大学
Academic Emergency Medicine	Association between timing of epinephrine administration and intact neurologic survival following out-of-hospital cardiac arrest in Japan: a population-based prospective observational study.	Nakahara S	聖マリアンナ医科大学
Blood Purification	Time to initiation of treatment with polymyxin B cartridge hemoperfusion in septic shock patients.	Takeyama N	藤田保健衛生大学
Neurologia medico-chirurgica(52巻1号)	Guidelines for the Management of Severe Head Injury, 2nd Edition Guidelines from the Guidelines Committee on the Management of Severe Head Injury, the Japan Society of Neurotraumatology	Shigemori M	久留米大学
眼科臨床紀要 5:33-37 2012.1	麻痺性斜視の一般的手術法	林 孝雄	眼科
眼科臨床紀要 5(12):1129-1133,2012	ポリコソナル内服による視覚障害から視放線の病変が見つかった再生不良性貧血の1例	堀野 武	慶應義塾大学
日本眼科学会雑誌	10年以上の長期観察を行った杆体反応の増強を伴う錐体ジストロフィの4例	中村 奈津子	東京医療センター
眼科 54(4):393-398 2012.4	眼位・眼球運動異常の診断と治療「眼振」	林 孝雄	眼科
眼科 54(11):1557-1572 2012.10	新しい展望 斜視の病態と治療、弱視治療の多施設研究を中心に-2008~2011年度-	林 孝雄	眼科
眼科臨床紀要 5:1036-1038 2012.11	交通事故後に生じた両眼性外転神経麻痺の1例	石川 敦	眼科(溝口)
眼科 55(2):183-189 2013	Marin-Amat症候群(顔面神経麻痺後異常連合運動)の閉瞼筋力とボツリヌス毒素療法	木原 剛	眼科
日本眼科学会雑誌 117(5):438-442 2013	過剰涙丘の1例	下山 玲子	二本松眼科病院

小計20
合計229

雑誌名	題名	発表者	所属部門

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 中込 忠好
管理担当者氏名	医事課 飯塚裕之, 診療情報管理部 小笠原后香, 総務課 稲垣宏治 医療サービス課 内田れい子, 薬剤部 渡邊真知子

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		総務課 医療情報課 各病棟 各科診療科	診療録等(紙カルテ)は年度別・科別 ・アドレス順フィルムはターミナル デジット方式 その他については年度別
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業員数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	各科診療科	
	高度医療技術の開発及び評価の実績	//	
	高度の医療の研修の実績	//	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携室	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制確保の状況	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う者の配置状況	安全管理部 総務課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談室	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	安全管理部 総務課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	安全管理部 総務課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	安全管理部 総務課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	安全管理部 総務課	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	総務課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	総務課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	総務課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	総務課
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	総務課 薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課 医薬情報センター
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME部 経理課 中央放射線部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME部 経理課 中央放射線部
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME部 経理課 中央放射線部

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	稲垣 宏治、飯塚 裕之、小笠原 后香
閲覧担当者氏名	稲垣 宏治、飯塚 裕之、小笠原 后香
閲覧の求めに応じる場所	カルテ閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	56.6%	算定期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
算出根拠	A : 紹介患者の数	15,149 人	
	B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	12,075 人	
	C : 救急用自動車によって搬入された患者の数	6,011 人	
	D : 初診の患者の数	46,693 人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
・指針の主な内容 1. 安全管理に関する基本的な考え方 2. 安全管理委員会その他の組織に関する基本事項 3. 安全管理のための職員研修に関する基本方針 4. 安全確保を目的とした、事故報告書にもとづく改善策の立案、実施に関する基本方針 5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 6. 病院職員と患者の情報共有に関する基本方針 7. 患者と家族への説明と同意に関する基本方針 8. 患者と家族等からの相談への対応に関する基本方針 9. 安全管理対策に関する指針および安全管理マニュアルの見直しと周知の方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
・活動の主な内容 1. 安全管理対策の推進 2. 医療事故発生防止のための情報収集と教育 3. 医療事故発生防止ための対策の立案と施設・設備の改善計画の立案および実施状況の調査 4. 発生した医療事故の実情の把握と処理法の立案 5. 発生した医療事故等に関する診療録、看護記録等の調査および指導 6. 発生した医療事故に対する患者、家族等への対応状況の確認および指導 7. 発生した医療事故の原因究明の確認および指導 8. 発生した医療事故に対する再発予防対策の立案・実施・職員への周知徹底	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 10 回
・研修の主な内容 別紙参照	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・医療機関内における事故報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・その他の改善のための方策の主な内容 ○安全管理委員会において事故の事例分析および発生要因の分析を行ない、改善策を立案し、各部署・職員に対し周知徹底する	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(6名) <input type="checkbox"/> 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(8名) <input type="checkbox"/> 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
・所属職員：専任(6)名 兼任(13)名 ・活動の主な内容 1. 安全管理対策の推進 2. 安全管理部会のおよび臨時の安全管理委員会の開催 3. リスクマネージャー会議を開催し、安全管理委員会で決定された事項の周知徹底 4. 医療事故発生防止のための情報収集と教育 5. 院内各部署への立ち入り調査と関係書類の調査 6. 安全管理に関わる関係部署との連絡調整 7. 医療事故発生防止ための対策の立案と施設・設備の改善計画の立案および実施状況の調査 8. 発生した医療事故の実情の把握と処理法の立案 9. 発生した医療事故等に関する診療録、看護記録等の調査および指導 10. 発生した医療事故に対する患者、家族等への対応状況の確認および指導 11. 発生した医療事故の原因の究明および指導 12. 発生した医療事故に対する再発予防対策の立案・実施・職員への周知徹底 13. 安全管理委員会、安全管理部会リスクマネージャー会議の資料および議事録の作成並びに保存等の庶務に関すること	
⑧ 当該病院内に患者から安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

医療の係わる安全管理のための職員研修の実施状況(平成24年度)

研修区分	期日	時間	テーマ
新入職員オリエンテーション	平成24年4月2日(月) 平成24年4月3日(火)	8:30～17:00 8:30～12:30	安全管理体制について
臨床研修医基礎研修	平成24年4月2日(月) ～ 平成24年4月21日(土)	9:00～17:00	放射線の安全取扱各論 院内急変への対応 医療過誤および異常死の取り扱い 医薬品安全情報について インシデントレポートについて 医療事故防止 患者確認実習 暴力行為への対応 リスクマネジメントについて
看護師新入職者研修会	平成24年4月3日(火) ～ 平成24年4月11日(水)	8:30～17:00	事故防止総論 個人情報の保護(暴力行為含む) 内服について 点滴について 採血・検体容器 BSチェックについて 注射について インシュリンについて 酸素ポンベの取り扱いについて 輸液ポンプ シリンジポンプ 経管栄養について 転倒・転落防止について チューブトラブルについて
臨床研修医定期研修	毎月第3金曜日	12:00-13:00	安全管理マニュアルについて インシデント・アクシデント報告について 患者影響レベルについて 認証業務について 急速投与について 抗凝固薬・抗血小板薬について アンプルカットについて 麻薬の取扱いについて コミュニケーションエラーについて 薬剤について 転倒・転落について e-Learningについて 輸血について アレルギーについて 承諾書について 安全管理 関連マニュアルについて 今月のトピックスについて
リスクマネージャー研修会	平成24年 6月 2日(土)	13:00-17:00	病院の安全管理体制とRMの役割 インフォームド・コンセント グループワーク 暴力事案への適切な対応ロールプレイ
新規採用医師講習会	平成24年6月4日(月)	18:00-19:30	安全管理体制について
第1回医療安全および感染防御に関する講習会 (ビデオ講習会含む)	平成24年5月17日(木) 平成24年7月 3日(火) 平成24年7月 9日(月) 平成24年7月13日(金)	17:30-18:30	暴力アンケート結果報告 抗血小板薬・抗凝固薬のガイドラインについて [テスト実施]
第2回医療安全および感染防御に関する講習会 (ビデオ講習会含む)	平成24年 9月11日(火) 平成24年10月10日(水) 平成24年10月19日(金) 平成24年10月23日(火)	17:30-18:30	経鼻経管栄養施行マニュアルについて 医療安全のe-learning紹介
第3回医療安全および感染防御に関する講習会 (ビデオ講習会含む)	平成24年12月11日(火) 平成25年 2月18日(月) 平成25年 2月16日(火)	17:30-18:30	カテコラミン安全性を高めるために 鎮痛・鎮静の院内マニュアルについて 医薬品の安全使用について
第4回医療安全および感染防御に関する講習会 (ビデオ講習会含む)	平成25年 3月19日(火) 平成25年 4月30日(火) 平成25年 5月 1日(水) 平成25年 5月 7日(火)	17:30-18:30	心嚢ドレナージに対する院内指針 医療機器安全管理委員会の活動とお願い 医薬品の安全使用について

院内感染のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<p>・指針の主な内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染対策に関する基本的な考え方 2. 院内感染対策のための委員会および組織に関する基本事項 3. 院内感染対策のため職員研修に関する基本指針 4. 院内感染発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6. 患者などに対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. 院内感染対策のための指針および院内感染対策要綱の見直しと周知の方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・活動の主な内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染状況を監視、調査するとともに、対策を立案し、その拡大を防止するための具体策を関係方面に提言するとともに、対策の実施について病院長および感染制御部長に具申する。 2. 周知すべき感染症の情報を院内諸方面に伝達する。 3. その他、院内感染予防のために必要な業務を行う。 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 4 回
<p>・研修の主な内容</p> <p style="text-align: center;">別 紙 参 照</p>	
<p>④ 感染症の発生状況の報告その他の院何感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況</p> <p>・病院における発生状況の報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <p>○感染制御部・感染制御委員会において感染症発生要因の分析を行ない、改善策を立案し、各部署・職員に対し周知徹底する。</p>	

院内感染対策に関する職員研修(平成24年度)

研修区分	期日	時間	テーマ
新入職員 オリエンテーション	平成24年4月2日(月) 平成24年4月3日(火)	8:30~17:00 8:30~12:30	院内感染対策について
研修医基礎研修	平成24年4月2日(月) 平成24年4月21日(土)	9:00~17:00	感染症対策について、感染症診療について
新規採用医師 講習会	平成24年6月4日(月)	18:00~	院内感染対策について
院内感染予防 講習会 (ビデオ講習会含む) 第1回	平成24年5月17日(木) 平成24年7月3日(火) 平成24年7月9日(月) 平成24年7月13日(金)	17:30~	「感染症情報の共有について」 講師:菊池智美 「職業感染について」 講師:冬室純子
院内感染予防 講習会 (ビデオ講習会含む) 第2回	平成24年9月11日(火) 平成24年10月10日(水) 平成24年10月19日(金) 平成24年10月23日(火)	17:30~	「2010年9月から2年~感染対策を振り返る」 講師:松永直久
院内感染予防 講習会 (ビデオ講習会含む) 第3回	平成24年12月11日(火) 平成25年2月18日(月) 平成25年2月26日(火)	17:30~	「結核」 ~世界最大の感染症~ 講師:竹澤智湖
院内感染予防 講習会 (ビデオ講習会含む) 第4回	平成25年3月19日(火) 平成25年4月30日(火) 平成25年5月1日(水) 平成25年5月7日(火)	17:30~	「サーベイランスの報告(年度末報告)」 講師:菊池智美 「振り返り・そして・未来へ」 講師:松永直久

医薬品の使用に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・活動の主な内容</p> <p>「第3回医療安全および感染防御に関する研修会」 薬剤部 山内係長 平成24年12月11日(火) 17:30~18:30</p> <p>「第4回医療安全及び感染防御に関する研修会」 薬剤部 山内係長 平成25年3月19日(火) 17:30~18:30</p> <p>・医薬品の有効性・安全性に関する情報、使用方法について ・医薬品の安全使用のための業務に関する手順書について ・医薬品による事故・副作用等が発生した場合の対応について</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・手順書の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・業務の主な内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品の採用・購入に関する事項 2. 医薬品の管理に関する事項 3. 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項 4. 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項 5. 病棟における医薬品の管理に関する事項 6. 入院患者への医薬品使用に関する事項 7. 医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関する事項 8. 他施設との連携に関する事項 9. 院内製剤に関する事項 10. 放射性医薬品に関する事項 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集初他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医薬品に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <p>○公的機関(PMDA等)、医薬品製造販売業者、卸売販売業者、学術誌、インターネット、新聞等から収集し、「DIニュース」等の院内への発信や研修会により従業者へ伝達。</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
② 従業員に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 87 回		
<p>・活動の主な内容</p> <table border="0"><tr><td data-bbox="193 371 606 645"><ul style="list-style-type: none">1. 人工呼吸器2. 人工心肺装置及び補助循環装置3. 血液浄化装置4. 除細動器(AEDを除く)5. 閉鎖式保育器6. 診療用高エネルギー放射線装置7. 診療用放射線照射装置</td><td data-bbox="708 495 932 524">} の取り扱いについて</td></tr></table>		<ul style="list-style-type: none">1. 人工呼吸器2. 人工心肺装置及び補助循環装置3. 血液浄化装置4. 除細動器(AEDを除く)5. 閉鎖式保育器6. 診療用高エネルギー放射線装置7. 診療用放射線照射装置	} の取り扱いについて
<ul style="list-style-type: none">1. 人工呼吸器2. 人工心肺装置及び補助循環装置3. 血液浄化装置4. 除細動器(AEDを除く)5. 閉鎖式保育器6. 診療用高エネルギー放射線装置7. 診療用放射線照射装置	} の取り扱いについて		
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況			
<p>・手順書の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・保守点検の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none">1) 使用前、使用中、使用後の点検2) 定期点検(各医療機器ごとの期間)3) 点検方法は各医療機器の取扱い説明書を参考に実施。 メーカー主催のメンテナンス講習会に参加し、修了証書を受けた者が中心となり実施。			
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療問いの安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況			
<p>・医薬品に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <p>○メーカーからの情報提供やインターネットからPMDA、医療機器安全情報等を収集し、安全管理部・安全管理委員会と連携し、電子カルテインフォメーションを通じて通達を出している。</p>			